

2023年2月10日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 山岡 暁

インド国チェンナイ周辺環状道路建設事業（フェーズ2）
（有償資金協力）
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2023年2月3日（金）13:59～16:28
- ・ 場所：オンラインおよび JICA 本部（2階 229 会議室）
- ・ ワーキンググループ委員：小椋委員、貝増委員、鋤柄委員、山岡委員
- ・ 議題：インド国チェンナイ周辺環状道路建設事業（フェーズ2）（有償資金協力）に係る環境レビューについての助言案作成
- ・ 配付資料：
 - 1) 【環境レビュー方針】インド国チェンナイ周辺道路開発事業（フェーズ2）
 - 2) 【EIA】230116_CPRR_Sec5
 - 3) 【SIA&RAP】230116_CPRR_Sec5
 - 4) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第145回委員会）

- ・ 日時：2023年2月10日（金）14:00～15:35
- ・ 場所：オンラインおよび JICA 本部（2階 229 会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. EIA における平均速度の改善に関し、記述が分かりにくいいため誤解を招く恐れがある。
EIA 最終版ではこれらを修正するよう実施機関に申し入れること。

スコーピングマトリクス

2. 「トラックやバスの走行路の排水口に堆砂&油分離槽を設置し、最終的に 1.5m 以上の落差のある地表水/水路に流入させる」ことの対応可否について実施機関と協議し、対応方法を EIA 最終版に反映させるよう実施機関に申し入れること。
3. 土取り場の選定や掘削後の対策について、実施機関がモニタリング（現地確認を含む）を行う予定ではあるが、モニタリングの確実な実施を実施機関に再度申し入れること。

社会配慮

4. 75 世帯の住民移転に関し、被影響者との協議を通じて移転先の選定を支援する際、既存のコミュニティでの状況を勘案しつつ、関係者と十分な協議を行って進めていくよう実施機関に申し入れること。

以 上